

てしかが観光塾に全国から36人 てしかがえこまち推進協議会



基調講演を行う石森秀三北海道大学教授

欲のある36人が参加しました。初めに、主催者であり塾長の同協議会長・徳永町長が参加者を激励。続いて行われた基調講演では特別公開セミナーとして、北海道大学観光学高等研究センター長の石森秀三教授が「観光地域づくりと人材育成」と題して講演。

みんなが幸せに暮らすために

ひがし北海道観光事業開発協議会事務局長の野竹鉄蔵さんと(株)ツーリズムてしかが代表取締役の白石悠浩さんが「着地型観光推進における課題発着連携から、発地・着地・連携」と題して、実際に行っている着地型ツアーの課題から発着連携について講義。その後「今、求められる地域づくり、地域経営」をテーマに、徳永塾長、和歌山大学観光学部の出口竜也教授、竹林浩志

りはさまざまな人が関わり意見が出るが、面白くなくてはならない。まずは、この町でいろいろ取り組みをされていることが素晴らしいことである。竹林准教授は「地域経営は、みんなの考える利益がどのくらいで、どういうスタンスでやっていくかをしっかりと考え取り組むこと、そして自分たちが戦略主体であり統



ワークショップの様子

てしかがえこまち推進協議会が主催する「平成24年度てしかが観光塾」が、11月16日(土)の3日間の日程で川湯ふもとで開校しました。

今回は5回目を迎える同塾は、観光関係者の連携や、地域の観光をマネジメントできるキーマンの育成を目指しているもので、各地で活躍している講師からさまざまなレクチャーを受けました。

新しい観光の創造による国づくり、地域づくりのため、観光産業にも支援員の導入や観光創造士の制度化が必要だと話しました。次に、副塾長の山田桂一郎さんと石森教授による「日本と地域の観光の現状」と題した講義が行われたほか、てしかがえこまち推進協議会専門部会長のうち4人が「弟子屈町での観光地域づくりを担う組織体」と題して、本町の取り組みを事例発表しました。



藻谷浩介さんの講義

准教授の3人がパネルディスカッションを行いました。徳永塾長は「みんなが幸せに暮らすために、身の丈に合った自立した経営をし、これからの農業と観光の連携や若い人の感性を生かした取り組みが大切」、出口教授は「地域づく

けることが大事だ」と話しました。山田さんは「観光地域づくりは必ずエゴと利害が出てくるが、これを超えたところで暮らしたいの豊かさのために仲間づくりをし、取り組まなければならぬ」と締めくくりました。

3日目はグループに分かれてのワークショップ。グループごとに「地域の戦略づくり」に取り組み、発表とまとめを行いました。

閉講式で参加者代表が徳永塾長から修了証を受け取り、3日間の塾が閉講しました。

今年も「SL冬の湿原号」がやって来る!

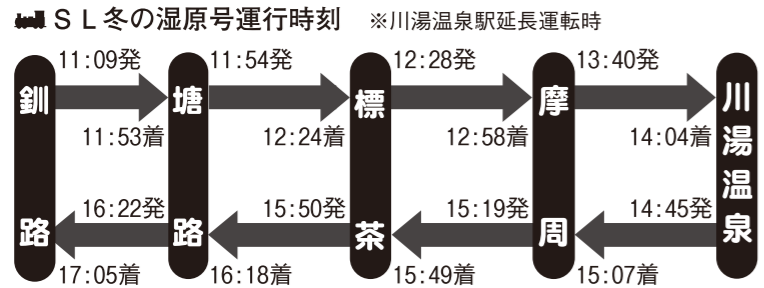
川湯温泉駅までの延長運行は 1月19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)

ひがし北海道の風物詩となっている「SL冬の湿原号」が、今年も摩周駅・川湯温泉駅にやって来ます。

2000年1月から運行されている冬の湿原号は、雪原の中を走る勇姿に魅了された鉄道ファンのみならず、観光客や地元の方々を毎年楽しませています。冬の湿原号の魅力は姿・形だけではなく、煙のにおいや車窓からの風景を楽しんだり、ダルマストーブを囲みながら珍味に舌鼓など、まさに「五感で楽しむ!」という言葉がぴったりです。

皆さんも、この機会にSL乗車を体験してみたいはかがですか?

- 運行期間
- 釧路駅～川湯温泉駅／1月19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)
- 釧路駅～標茶駅／2月1日(金)～3月10日(日)



〈列車運行・時刻などの問い合わせ先〉JR摩周駅 ☎ 4 8 2 - 2 0 3 0 URL <http://www.jrkushiro.jp/>

町民限定 わくわく体験

JR北海道の協力により、町民の皆さんにSL乗車体験の特別企画を行います。ぜひこの機会に、懐かしく、そして新しいSLにご乗車ください。

- ▶体験乗車日／1月19日(土)
- ▶乗車区間／摩周駅～川湯温泉駅の往復
- ▶料金／中学生以上 1,950円(通常2,300円)
小学生 970円(通常1,140円)
未就学児童 無料 (座席が必要な場合は970円)
- ▶定員／30人(先着順)
- ▶申込期間
1月7日(月)～11日(金)の9時～17時
- ※受付時に、乗車される方の「住所・氏名・電話番号」を確認し、詳細については、後日連絡します。
- 申し込み・問い合わせ先／役場観光商工課観光商工係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)まで。

雪を利用した冷房施設が完成しました

休止している弟子屈温泉プールに雪を貯めて、学校給食センターの冷房に活用する雪氷冷熱施設の工事が終わりました。

この施設は、雪が融けてできる約4℃の冷水を熱交換することによって、給食センターのエアコンの冷熱源として利用するためのものです。3月までに約600トンの雪をプール槽に貯め、断熱シートをかけて、毎年4月から9月まで活用する予定です。

この事業は、一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の補助金を受けて実施しています。

自然再生エネルギーを身近に講演会を開催します

自然再生エネルギーを身近に感じていただくため、生活や産業に自然再生エネルギーを活用していただくための講演会を開催します。ぜひご参加ください。

- ▶日時／1月15日(火) 14時(15時20分終了予定)
- ▶場所／公民館 2階講堂
- ▶講師／北海道大学大学院工学研究科 濱田 靖 弘 准教授
- ▶テーマ／雪や氷などの自然再生エネルギーを産業・暮らしに活かす(仮)

問い合わせ先／役場企画財政課環境室環境政策係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)



雪氷冷熱施設で雪を貯蔵